

2025 BIEN & INWES-APNN Meeting 活動報告

日時： 2025 年 8 月 20 日（水）・ 8 月 21 日（木）・ 8 月 22 日（金）

場所： 韓国・大田（デジョン）

参加人数： 計 21 か国・ 523 名が参加（うち韓国から 414 名、韓国外から 109 名）
日本からは 15 名が参加



2025 年 8 月 21 日、韓国・大田で開催された BIEN2025 の一環として INWS-APNN Meeting が行われました。アジア太平洋地域の 12 か国以上が参加し、日本からは 15 名が出席しました。本会議は午前と午後に分けて各国のカントリーレポートが発表され、日本のカントリーレポートでは、女性の STEM 分野への参加状況やジェンダーギャップの現状が女性科学者の会・武井氏により紹介されました。特に、女性管理職比率が依然として低い STEM 分野の課題を示し、幼少期からの STEM 教育やステレオタイプの解消を通じて、女子の自己効力感を高め、将来的に女性の STEM 参画を拡大していく必要性が強調されました。

韓国・オーストラリア・インド・マレーシアなどの国々からも、教育制度改革や STEM 分野における女性育成プログラムに関する報告があり、午後にはミャンマー・ネパール・フィリピン・台湾などからも多様な社会課題や取り組みが共有されました。これらの発表を通じて、各国の状況の違いが浮き彫りとなりました。

会議の最後には APNN 年次総会が開かれ、次回開催地（台湾）への引継ぎが行われたほか、フェアエルディナーでは各国の催し物で会場は盛り上がりを見せました。日本チームは折り紙と歌のパフォーマンスを行い、参加者にトトロの折り紙を配布したところ大変喜ばれ、国際交流の一助となりました。今回の会議は BIEN との併催であったため、多国間での交流の幅が広がり、各国の特色ある発表を通じて多様な視点を学ぶ貴重な機会となりました。日本からの発表は政策面と文化面を交えた内容で関心を集め、他国の活動と比較する上でも有意義であったと思われます。全体として、今後日本がアジア太平洋地域における女性科学技術者ネットワークにどのように貢献していくかを改めて考える機会となりました。

最終日（8 月 22 日）にソウルで実施されたツアーでは、KIST (Korea Institute of Science and Technology: 韓国科学技術研究院) や歴史的建造物を訪れ、韓国文化を体験しました。

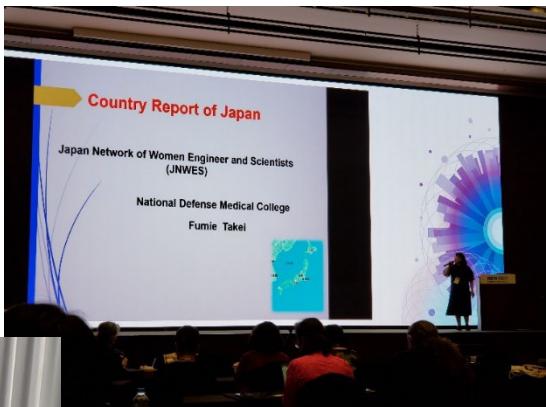
（奈良女子大学大学院/博士後期課程 2 年・間瀬 葵）



▼▼ INWES-APNN Meeting 会場



▼▼ 武井氏によるカントリーレポート



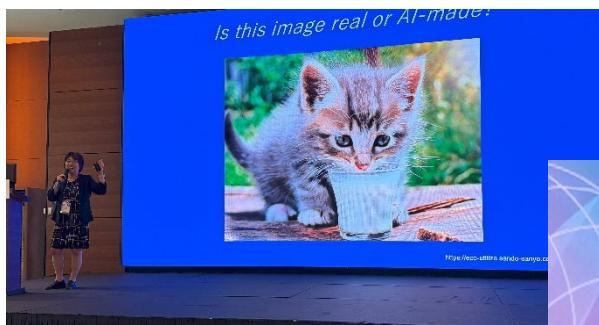
▼▼ Farewell dinner 後の集合写真

過半数のメンバーが着物や浴衣を持参しました！



▼▼ 行木氏による発表

Science Session (IT) にて
発表を行いました。



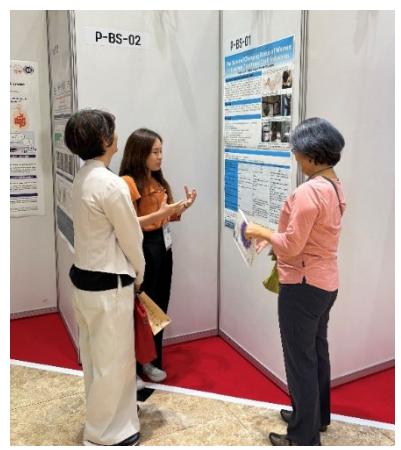
▼▼ 仁田氏による発表

Gender in STEM のセクションにて
発表を行いました。



▼▼ ポスターセッションの様子

日本チームからは5名が
発表を行いました。



▼▼ ツアーにて訪れた"景福宮"

守門将交代儀式（수문장 교대식）
が行われました

